

国指定名勝「ピリカノカ」

○北海道には、アイヌのユーカラに謡われた物語や伝承の舞台をはじめ、アイヌ語により命名された独特の地形から成る土地など、文化財として保護すべき名勝地が数多く存在します。

これらの言語に彩られた、良好な自然の風致景観を持つ優秀な景勝地をアイヌ語で「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」と総称し、国指定の名勝として保護されています。

○名勝「ピリカノカ」の構成資産

◆ 九度山（クトゥンヌプリ） 平成21年7月23日指定



- ・名寄市にある標高673.6 m の山で、その呼称は「岩崖のある山」を意味します。
- ・アイヌの人々にとって、祈りの対象であったばかりでなく、狩猟を行う際の目印として大切な山でもありました。

◆ 黄金山（ピンネタイオルシペ） 平成21年7月23日指定



- ・石狩市浜益区にある標高739.1 m の山で、その呼称は「樹叢の平原の中にそびえる雄山」を意味します。
- ・ユーカラに少年英雄として登場するポイヤウンペの拠点としての伝承を育み、アイヌの人々を長く守護し続けたといわれています。

◆ 神威岬（カムイエトゥ） 平成22年2月22日指定



- ・枝幸町と浜頓別町にある岬で、その呼称は「神の岬・突端」を意味します。
- ・迫りに満ちた偉容を持ち、アイヌの人々にとってカムイ(神)の宿る聖なる岬とされています。

◆ 襟裳岬（オンネエンルム） 平成22年8月5日指定



- ・ えりも町にある岬で、その呼称は「大きな岬」を意味します。
- ・ 太平洋へと岩礁が連続する独特の風致景観を持ち、アイヌの人々にとってカムイ（神）の宿る聖なる岬とされています。

◆ 瞰望岩（インカルシ） 平成23年2月7日指定



- ・ 遠軽町にある岩で、その呼称は「見張りするところ」を意味します。
- ・ ほぼ垂直の岩壁がそびえ立ち、その昔、古戦場であり、また神祭の行われた厳粛な場所とされています。

◆ カムイチャシ 平成23年2月7日指定



- ・ 豊浦町にある岬で、その呼称は「神の砦」を意味します。
- ・ ほぼ垂直の断崖となっていて、人間の近寄りがないチャシとしての意味もあったと考えられるとされています。

◆ 絵鞆半島外海岸 平成24年1月24日指定



- ・ 室蘭市にある海浜で、ハルカラモイ、増市浜、地球岬、トッカリシヨ浜の4カ所が指定されました。
- ・ アイヌ語地名を由来とする地形が良く残る風致景観の優秀な海浜です。

◆ 十勝幌尻岳（ポロシリ） 平成24年9月19日指定



- ・帯広市と中札内村の境にある標高1,846mの山で、その呼称は「大きい・山」を意味します。
- ・アイヌの神（カムイ）が遊んだ山であると伝えられ、アイヌの人々から神聖な山として崇められてきました。

○今後も、アイヌの物語や伝承の場、祈りの場、言語に彩られた良好な自然の風致景観を持つ優秀な景勝地が名勝「ピリカノカ」に追加指定されるよう、所
在市町村と協力の上、取組みをすすめていきます。

（解説）

◇ 名 勝： 景色の良いことで知られている場所のことで、山・滝や海岸・島などの美しい自然のほか、
庭園や公園などがある。

◇ 景勝地： よい景色、自然のよい風景を見られる場所のこと

◇ 風致景観： 自然の風景などの持つおもむきのある眺めのこと

◇ 日本を代表する名勝

古くから和歌に詠まれたり絵画に描かれたりしていた特に風景の美しい日本三景の松島（宮城県）、天橋立（京都府）、厳島（広島県）や、江戸時代に大名がつくった美しい庭園で日本三名園の兼六園（石川県）、偕楽園（茨城県）、後楽園（岡山県）があります。

◆ 北海道の名勝

国指定名勝：天都山（網走市）、旧岩船氏庭園（香雪園）（函館市）、ピリカノカ（名寄市ほか）

道指定名勝：羽衣の滝（東川町）、小清水海岸（小清水原生花園）（小清水町）

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 担当：文化財保護グループ

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 Tel 011-204-5749